

# まちプロ会議 第14回

2025.9.5  
台風のためキャンセル  
※その後、当日のために  
準備していた資料を  
配信しました


○台風のため、2025年9月5日のまちプロ会議はキャンセルとなりましたが、主に下記のような情報を参加者のみなさんにご共有する予定でした

… 予定していた内容 …

- ・ 作成中の景観ガイドラインについて（ガイドライン作成の目的、概要など）
- ・ 社会実験「みなとまちVillage」が終了し、アンケート調査結果などの速報

## 01 景観ガイドラインとは

●これから編纂するする蒲郡東港地区の大きなマイルストーン

今年度つくるもの	まちプロ会議第14回のトピック	景観ガイドラインとは？
<ul style="list-style-type: none"> <li>●(仮称)東港地区マスタープラン冊子                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・東港地区の将来の姿を共有</li> <li>・「未来予想図」</li> </ul> </li> <li>●景観ガイドライン                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりのルール集</li> </ul> </li> </ul>	 <h3>景観ガイドライン</h3>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市や民間事業者が東港まちづくりを展開していくときのルール集となる</li> <li>・このエリアで守りたい、実現していきたい景観的なきまりを共有する</li> </ul>

上) まちプロ会議用に準備していたスライド集より抜粋

## 02 景観ガイドラインが必要な理由、および概要

●なぜ、ガイドラインをつくるの？

もしも、  
ルールがないと、

- **バラバラな風景**になってしまう！
- みんなの**意見を将来に残せない**



●景観ガイドラインに掲載する主な内容

★たとえば、

- ・ これまでに多かった意見
- ・ さまざまな社会実験の検証結果
- ・ 蒲郡らしい風景をつくる

開発が進むエリアに反映したい！

ガイドライン  
編纂

★たとえば、

みなさんから多くいただいた下記のご意見

「海が見える風景を大切にしたい」

★次世代に伝えるためには：

- ・ 視点場からの海の見え方を図示
- ・ 港への道ゆきの風景保全を解説

上記のようなルールが必要！

残したい風景を残す、つくりたい風景構築への道標

※ 今回のレポートは、第14回まちづくりプロジェクト会議キャンセルに伴い、メール配信で皆さんにご共有した資料をもとに作成しています

## 03 他の地区の取り組み事例

●参考となる他の自治体の事例

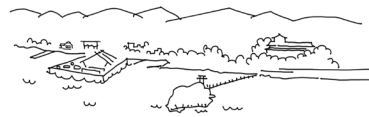
神戸市、横浜市、鹿児島市の景観ガイドラインをご紹介します



平戸市、北九州市、神戸市の夜間景観に関するガイドラインをご紹介します



上・右) 蒲郡東港地区にとって参考となる、夜間景観づくりのガイドライン

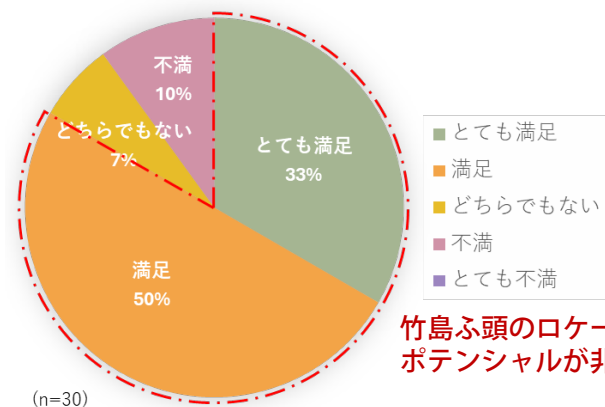


## 2025年度まちプロ会議スケジュール

※スケジュールは、変更となる場合があります

2025年	11	13	14	15	16	17	18
4月18日(金)	6月6日(金)	7月19日(土)	9月5日(金)	10月24日(金)	12月13日(土)	1月24日(土)	3月6日(金)
18:00~	18:00~	14:00~	18:00~	18:00~	14:00~	14:00~	18:00~

## Q4-1. 出店したトレーラーのロケーションはどうでしたか？



竹島ふ頭のロケーションのポテンシャルが非常に高い。

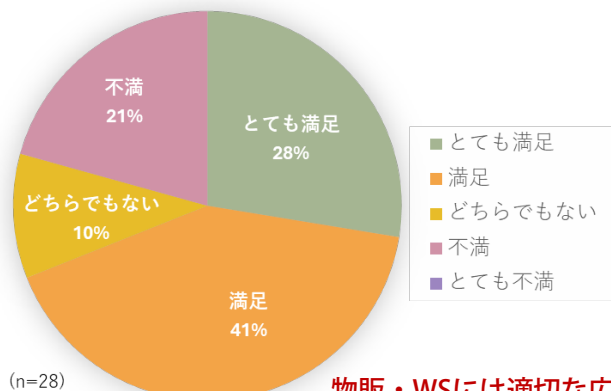
## 《とても満足・満足》

- ・駅近と市内中心部、海を眺められる。トレーラーハウスがスケルトンでお洒落なことからとても良かったです。
- ・夕陽のしずむ時間や夜景の美しさを感じる事ができて良かったです。
- ・海の側でトレーラーハウス、芝生、テント、チェアが用意されており、ライトアップされた空間で非日常を感じれた
- ・駅も近く、周りも落ち着いていてロケーションは最高でした。ただ、この場所が目的地になるような場所ではないため、集客は自身のSNSなどで周知しない限り、ここまで歩いて来ない。

## 《どちらでもない・不満》

- ・トレーラーの向き、看板など目立ったものがもっとあったほうが新規の方も来てくれるようになると思います。場所にまよわれた方もいらっしゃいました。
- ・人通りがあまりありません。誘導の看板が少ない

## Q4-3. 出店したトレーラーの設備はどうでしたか。



物販・WSには適切な広さ。  
飲食には少し客席数が不足。

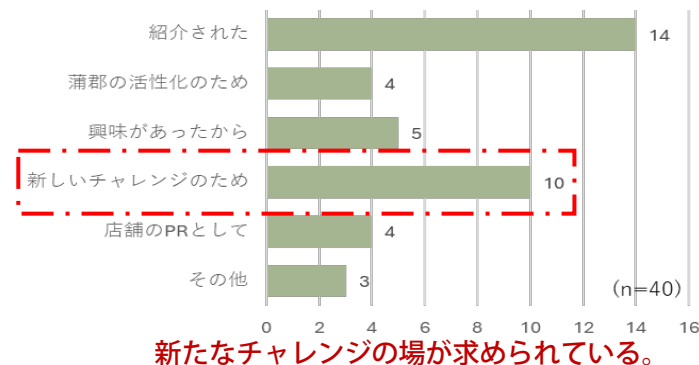
## 《とても満足・満足》

- ・広さは十分で、作品をある程度多く置くことが出来た。
- ・席数が足りないときがなかったのでワークショップや物販にはちょうど良さそう。

## 《どちらでもない・不満》

- ・飲食営業にはもう少し広い方がありがたい
- ・水場が手間
- ・作業場が少しせまい
- ・冷蔵庫、冷凍庫がもう少し大きいものだとありがたい。シングルガラスなので暑かった。
- ・給排水に少し難あり。けれど洗い物をしないのOK

## Q5. みなとまちvillageに出店された理由を教えてください。



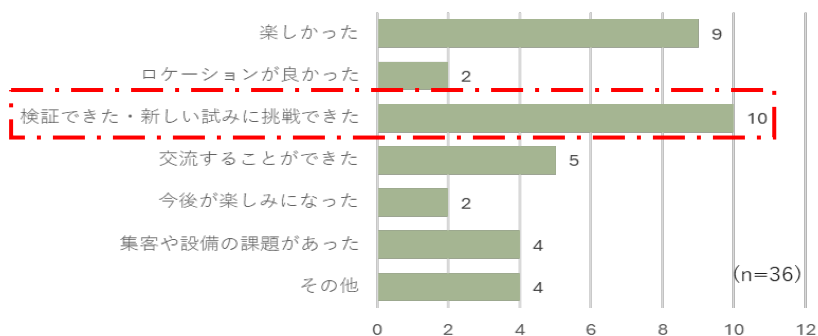
## 《興味があったから》

- ・ポートタウンデイズから参加するようになり、港の有効活用に興味があった
- ・楽しそう！今後も東港の発展に関わっていきたいので。

## 《新しいチャレンジのため》

- ・今から開発されていく東港地区に色々な可能性を求めています。自分の目標でもある犬と楽しめる場所の提供、平日ふらっと一人で行ける場所、夜カフェなどこの場所で可能性を試したくチャレンジした。
- ・以前お店をやっていたが出産もありやめてしまった。地元である蒲郡でお店をやりたいと思っておりチャレンジショップをやってほしいと思っていた。今回見つけてすぐに応じた。
- ・将来的にかわいいを集めたお店を構えてみたいとの想いがあり、やってみたかったため。今回トレーラーでイメージが少し湧いたのでこの機会はとてもありがたかった。

## Q6. みなとまちvillageに出店されて、いかがでしたか？



作家や地域の人が集まれる場所としても可能性が確認できた。

## 《楽しかった》

- ・出店だけでなく新たなチャレンジとしてアート展ができたこともとても良かった。

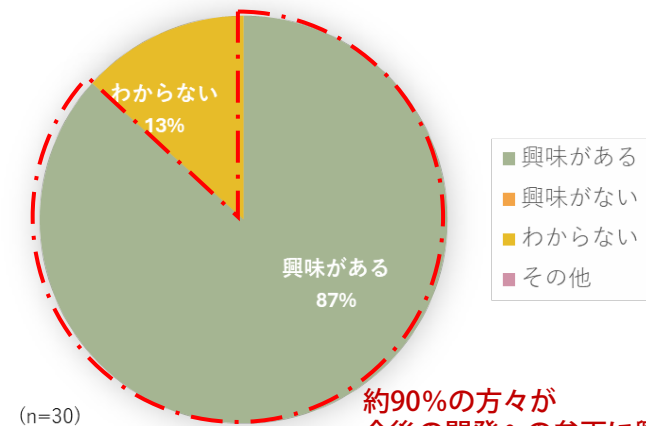
## 《検証できた・新しい取り組みに挑戦できた》

- ・工房(お店)が無い人も、こういった場所があると、作家同士も集まりやすい。いろんな人が繋げながら、毎日営業してるお店が開けるのはとても良いと思った。
- ・店舗を持っていない私にとっては夢が広がりました。そして実現できるわかりませんが新たな目標も生まれ、良い刺激となりました。そしてこの場所に市民はもちろん観光客の方にも楽しんで頂ける様な場所が必要だと思いました。
- ・外出店する者として、暑さを感じず出店できることが本当にありがたかった。全ての設備が整っていて良かったです。

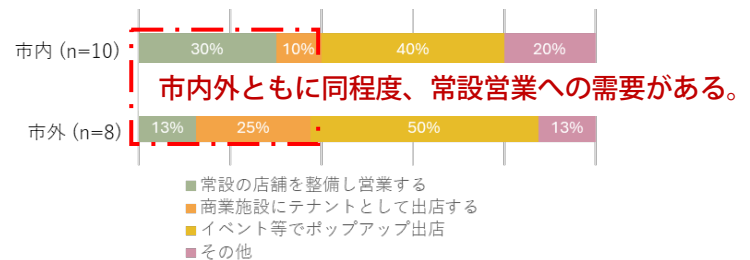
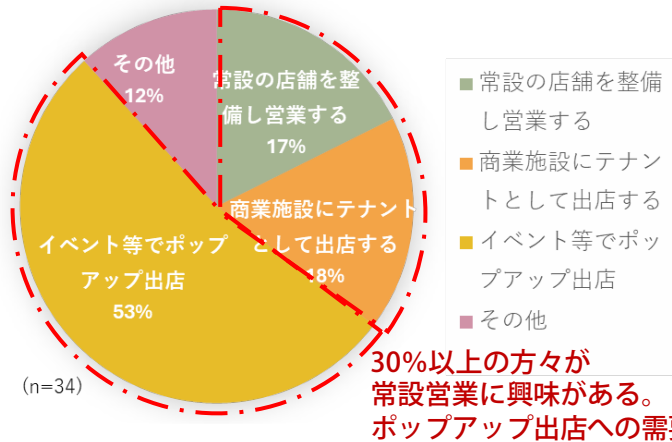
## 《交流することができた》

- ・物販トレーラーはとにかく快適で思いのほかお客さんも多く楽しい時間となりました。みなとまちvillageの場所は認知されれば憩いの場になる気がしました。

## Q7-1. 将来、開発予定エリアに商業施設の誘致を検討しています。今後、ご出店などで興味がありますか？



## Q7-2. 「興味がある」と回答された方にお聞きします。どのような形で関わるのが想定されますか。

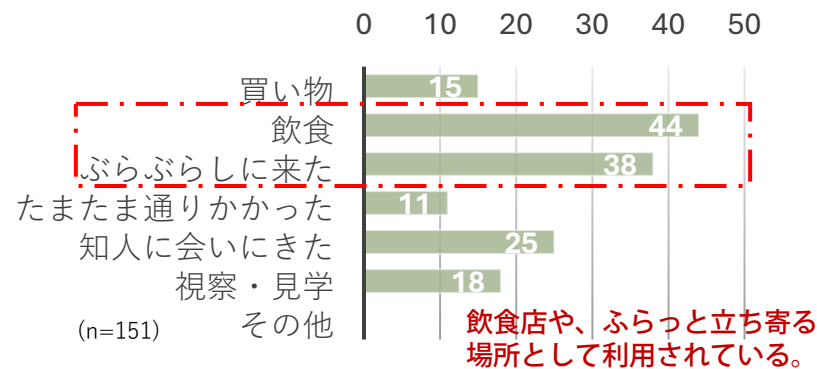


## 調査概要

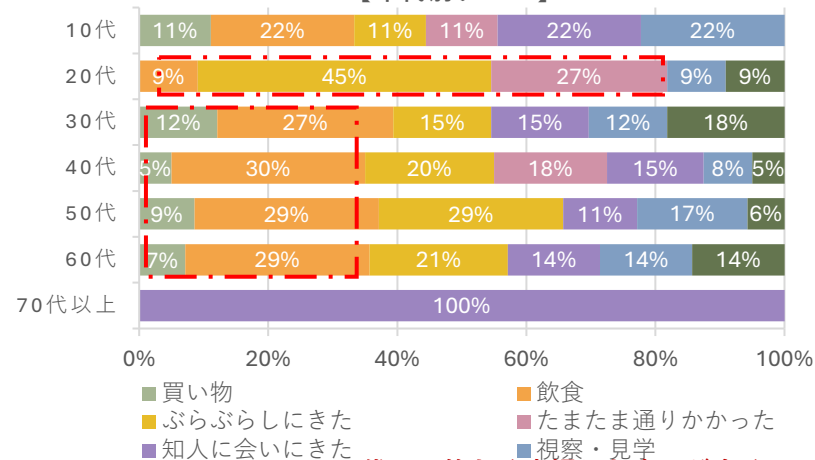
調査日 : 令和7年6月3日(火)～8月31日(日)  
回答数 : 32件(紙 23件、WEB 9件)  
回答事業者: 飲食トレーラー17件  
物販トレーラー16件



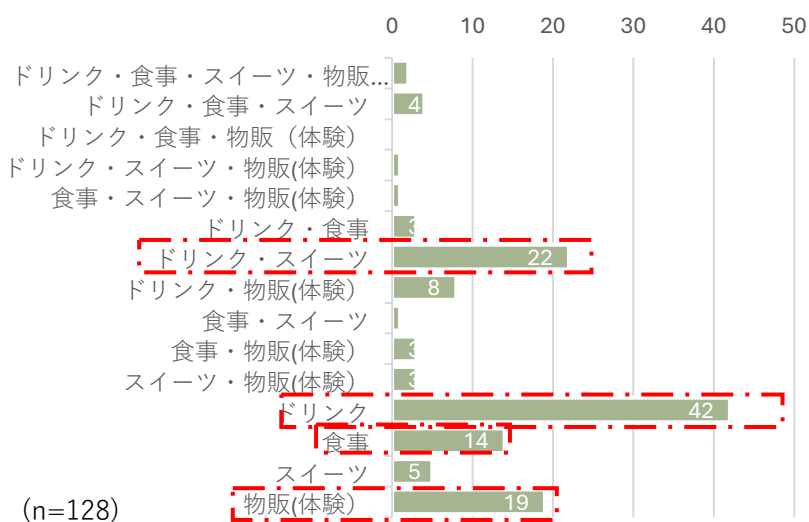
Q2. みなとまちvillageに来られた目的は何ですか？（複数可）



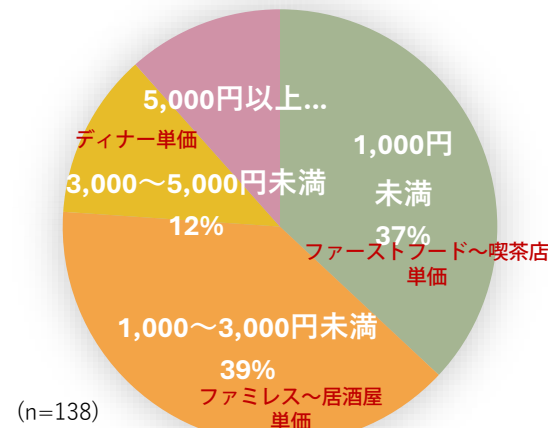
【年代別クロス】



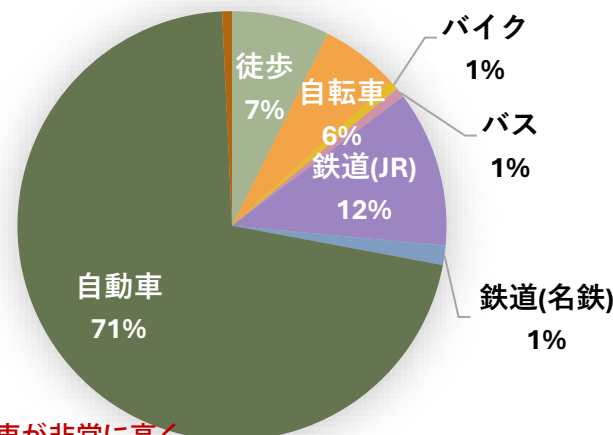
Q4.どのようなものを購入・食事されましたか？（できるだけ詳細にご記入ください。複数ある場合はすべて列記してください。）



Q6. 今回、みなとまちvillageに関連して、お金をいくら使いましたか？あるいは使う予定ですか？（交通費や宿泊費は除きます。）

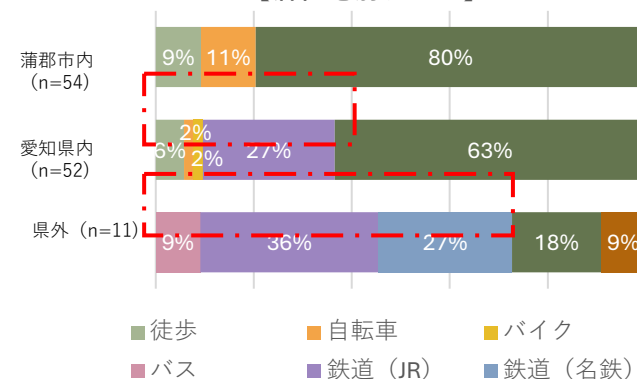


Q7. どのように来られましたか？



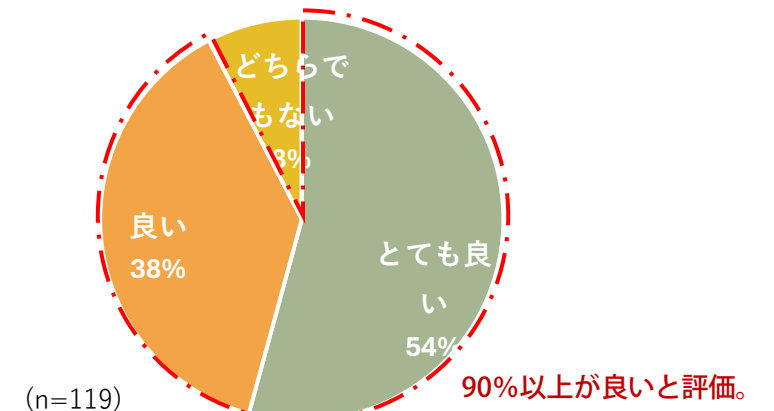
自動車が非常に高く  
今後、自動車での来場を十分に想定する必要がある。

【居住地別クロス】



市外来場者の方が自動車以外の交通を利用。

Q9-1. みなとまちvillageをどう思いますか？



《とても良い・良い》

- 人と人をつなぐ為にはこのようなマルシェは今の時代に必要だと思いました。
- それぞれのお店を知らなくても、ここに来たら色々と見ることができ、海を見ながら飲食できることが良い
- 海を眺めながらカフェでくつろげる
- 乳児のお散歩がてら連日連れていただきました。ふらっと寄れて、お話できて、とても気晴らしになりました。同じ乳児のお母さんを紹介していただいたりもして、コミュニティをひろげる場としても、活用させていただきました。このような場所が常設であると本当に助かります。
- ぶらっと立ち寄れる場所が欲しかった。蒲郡市の発展のため、駅周辺の開発が進んでほしい。
- 名古屋から電車で30分程で、素晴らしいロケーションの中で非日常を体験出来ました。
- 電車からの蒲郡観光の起点に良さそう。

《どちらでもない》

- 駐車場が知りたい
- 竹島埠頭の、一部のスポットにしか誘客の拠点が無いことが課題と感じる。「わざわざ立ち寄る」という感覚から、竹島エリアとも絡めて回遊する感覚にすると良いのではないか。

調査概要

調査日：令和7年6月3日（火）～8月31日（日）  
回答数：141件（紙78件、WEB63件）

